

実施校 上越市立稲田小学校

学年・人数：4年生・48名

実施日：令和7年11月27日（木）

～もっと知ろう関川のこと～ 稲田小学校4年生が関川の施設の役割を学びました！

● 実施概要

日時：令和7年11月27日（木） 9:10～11:20

場所：関川にある河川管理施設など（別紙の見学施設位置図と経路図を参照）

参加者：稲田小学校4年生 48名

内容：施設見学 ～川に出かけて施設を見学し、その役割を学ぶ～

- ①高田水位観測所（水位を測る仕組み、水位の種類、流量観測）
- ②水戸の川排水機場・北城排水樋管（内水はん濫とは、排水機場と樋管の目的）
- ③稲田緊急資材倉庫・稲田第2種側帯（水防資材・備蓄ブロック・浮子保管庫）
- ④古川排水樋管（内水被害の状況、上越市の内水対策、排水ポンプ車）

● 施設見学の様子



水戸の川排水機場と北城排水樋管
内水はん濫を防ぐため、河川の水位に応じて、樋管のゲート設備と排水機場のポンプ設備をどのような手順で操作するのかイメージ図で説明しました。



水戸の川排水機場内の操作室
操作パネルの説明のほか、非常用発電機を運転してみました。
停電しても3日間は運転できるよう燃料（重油）を確保しています。



高田水位流量観測所
関川の河川管理施設の中で最も重要な施設の一つです。量水標脇の紫赤黄などの色分けはその水位の時の河川の危険度を示しており、上越市が避難情報を発令する際の目安になっています。



稲田緊急資材倉庫（水防倉庫）と側帯

- ・洪水の際に地元の消防団が堤防から水があふれないよう土のうを積んだり、堤防が壊れないよう補強することを水防活動と言います。
- ・水防倉庫には水防活動に必要な資機材や工具が入っており、堤防脇の側帯になっている土砂は水防活動に使用できます。
- ・毎年、5月（水防月間）中下旬の日曜日に上越市、糸魚川市、妙高市の各市消防団などが集まり水防訓練を行っています。



稲田第2種側帯



古川排水樋管

- ・平成29年10月洪水、令和元年10月洪水では内水はん濫が発生し、上越消防署、地元消防団により排水活動が行われました。高田かわこくも上越市からの要請により排水ポンプ車を派遣し、排水活動の支援を行いました。
- ・上越市では内水ハザードマップの配布、雨水排水路の映像や水位情報の公開、排水ポンプ設置など内水対策を実施しています。



